

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	選挙管理委員会事務局
部(局)長名	吉川 英次

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 4	選挙啓発活動のさらなる推進
--------	---------------

全体の達成度

B

一部達成

目指すべき方向	投票率向上のための選挙啓発活動を推進します。
---------	------------------------

活動目標
18歳選挙権を視野に若年層の投票率向上のための啓発活動を実施します。
明るい選挙推進協議会との連携による啓発活動の充実を図ります。
市民への選挙に関する情報発信の機会を拡充します。

具体的な取組実績
吹田市成人祭において選挙啓発ブースを設け、選挙啓発用品の配布等、新成人へ選挙参加を呼びかけを行いました。また、新有権者となる高校生を対象に山田高校で出前事業を実施したほか、模擬投票のための投票箱や記載台の貸し出しも行いました。
小学生、中学生を対象に明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。明るい選挙推進協議会と連携し審査会を行い、入選者は表彰するとともに、作品を市役所正面玄関ロビーで展示しました。
明るい選挙推進協議会発行の選挙啓発機関紙「白ばらすいた」を自治会回覧、市内公共施設で配布したほか、「18歳選挙」啓発マーカ―やポスターコンクールの入選作品を掲載したクリアフォルダを作成し、様々な機会を通して市民に配布しました。

達成目標
学生等のボランティアによる啓発活動の支援を図ります。
市民向け啓発講座を実施します。

達成状況	達成度
大学での期日前投票所の開設に向け、設置、運営について学生団体と協議を行ってきましたが、本年度は実施に至らず継続協議となりました。	B 一部達成
選挙権年齢引下げを見すえ、9月に「18歳選挙権について考える」をテーマに関西大学の戸倉莞爾名誉教授の講演と、関西大学の学生3名と明るい選挙推進協議会の会長、副会長参加のパネルディスカッションからなる白バラ講座を開催しました。明るい選挙推進協議会との共催で開催した本講座では、100名近い市民の参加のもと有意義な議論が展開されました。	A 達成

## 平成27年度部長マニフェスト取組結果

市民が選挙に関する情報に接する機会を拡充し、積極的な政治参加を促します。



白バラ講座の開催、機関紙「白ばらすいた」の配布、市民文化祭パンフレットや「市報すいた」裏面の活用等、市民参加プログラムの実施や市民への情報提供に努めましたが、反響は少なく、さらなる拡充が必要と感じる結果となりました。

B

一部達成

### 総合評価・総括

平成27年度は、4月に市選挙管理委員会として事務ボリュームが最も大きい市議市長選挙、及び府議選挙を執、11月には知事選挙を執行しました。そうした中で、公職選挙法が改正され18歳選挙権の実施が平成28年6月19日から施行されることとなりました。とりわけ若年層の低投票率が課題となっている中、学生との連携で大学での期日前投票所の検討を行いました。統一地方選挙では実施に至りませんでした。しかしながら、白バラ講座では「18歳選挙権について考える」というテーマで講演、パネルディスカッションを開催したことにより啓発イベントとして一定の効果があったものと考えています。また、成人祭での選挙啓発活動などでもそうしたことを新成人にも伝えられたと考えています。今後、さらに大学での期日前投票所開設など若者の選挙啓発に取り組んでまいります。